

# DLSw 脆弱性

Low	アドバイザーID : cisco-sa-20070110-dlsw	<a href="#">CVE-2007-0199</a>
	初公開日 : 2007-01-10 16:00	
	バージョン 1.2 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">3.3</a>	
	回避策 : <a href="#">Yes</a>	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCsf28840</a>	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

DLSw メッセージの無効な値が DLSw デバイスのリロードという結果に終る可能性がある Cisco IOS の Data-Link Switching ( DLSw; データリンク スイッチング ) 機能で存在する脆弱性。この脆弱性の不正利用の成功は攻撃者がデバイスへの DLSw 接続を確立できることを必要とします。

[回避策](#) 下記の例で説明されているようにこの脆弱性のために、利用可能な回避策があります。

このアドバイザーは [110-dlsw](#) で掲示されます

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

この Security Advisory は Cisco IOS ソフトウェア バージョン 11.0 ~ DLSw のために設定される 12.4 を実行するすべてのシスコ製品に適用します。システムに DLSw 機能がある、有効になるそれが影響を受けていませんありませんが。

DLSw のために設定されるルータはローカル DLSw ピアを定義するコンフィギュレーションの行を備えています。この定義はコマンド `show running-config` を発行することおよび次と同じような行を探すことによって参照される場合があります:

```
dlsw local-peer peer-id
```

に類似した イネーブル モードおよび探された出力で間 DLSw が Cisco IOS デバイスで有効になったかどうか確認するために、`show dlsw statistics` コマンドを発行することもまた可能性のあるです:

```
Router#show dlsw statistics
DLsw+ Control Queue Statistics:
  SNA Control Queue (count/max/dropped):      (0/0/0)
  Netbios Control Queue (count/max/dropped):  (0/0/0)
  Other Control Queue (count/max/dropped):    (0/100/0)
  Critical Control Queue (count/max):         (0/0)
```

```
DLsw+ Border Peer Caching Statistics:

  0 Border Peer Frames processed
  0 Border frames found Local
  0 Border frames found Remote
  0 Border frames found Group Cache
```

DLSw のために設定されないデバイスは出力無しでコマンドプロンプトに単に戻ります。

DLSw 機能をサポートしないデバイスには類似した出力を戻します:

```
Router#show dlsw statistics
^
% Invalid input detected at '^' marker.
```

[ソフトウェアバージョンおよび修正](#) 下記の例にリストされるバージョン前の Cisco IOS のどのバージョンでも脆弱かもしれません。

デバイスに Cisco 製品、ログインで動作する Cisco IOS ソフトウェアのバージョンを判別し、システムバナーを表示する `show version` コマンドを発行するため。Cisco IOS ソフトウェアは「Internetwork Operating System Software」または単に「IOS」と表示されます。出力次の行で、イメージ名は「バージョンに」先行しているかっこと IOS リリース名の間で表示する。その他の Cisco デバイスには `show version` コマンドがないか、異なる出力が返されます。

次の例は C3640-I-M のインストール済みイメージ名前と IOS リリース 12.3(6) を実行する Cisco 製品を指定したものです:

```
Router#show dlsw statistics
^
% Invalid input detected at '^' marker.
```

次の例は C3845-ADVIPSERVICESK9-M のイメージ名と IOS リリース 12.3(11)T3 を実行する製品を示します:

```
Router#show dlsw statistics
^
% Invalid input detected at '^' marker.
```

Cisco IOS リリース指名についてのその他の情報は <http://www.cisco.com/warp/public/620/1.html> で見つけることができます。

その他の Cisco 製品は現在このアドバイザリで当たる脆弱性から影響を受けるために知られていません。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

脆弱ではないために確認される製品は DLSw のために設定されないデバイスが含まれています

。

## 改訂履歴

リビジョン 1.2	2007-April-20	12.2(46) 修正の訂正されたリリース 情報および日付、特に。
リビジョン 1.1	2007-January-12	12.4(11)T1 の訂正されたリリース日付
リビジョン 1.0	2007-January-10	初版リリース

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。